

2015 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 参 天 製 薬 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 黒川 明
(コード番号 4536 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーショングループ グループマネージャー 日比貴史
(TEL 06 - 4802 - 9360)

緑内障・高眼圧症治療剤「コソプトミニ配合点眼液」の製造販売承認を取得

参天製薬株式会社（本社：大阪市）は、2015 年 3 月 10 日付で、緑内障・高眼圧症治療剤「コソプトミニ配合点眼液」（一般名：ドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩）の製造販売承認を取得しましたので、お知らせします。

「コソプトミニ配合点眼液」は、「コソプト配合点眼液」と同じ炭酸脱水素酵素阻害剤 (CAI) 「トルソプト点眼液 1%」（一般名：ドルゾラミド塩酸塩）と、 β 遮断剤「チモプトール点眼液 0.5%」（一般名：チモロールマレイン酸塩）を含有する、防腐剤を含まない、1 回使い切り無菌ディスプレイタイプ容器入りの点眼剤です。

「コソプト配合点眼液」は、2010 年 4 月に、Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.

(米メルク社)の日本法人である MSD 株式会社（本社：東京都）が製造販売承認を取得し、同年 6 月より参天製薬が販売し、情報提供活動は両社が共同で行っていました。2014 年 8 月に米メルク社から参天製薬に製造販売権が譲渡され、現在は、販売、情報提供活動ともに参天製薬が行っています。

緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が障害されて視野欠損が進行する疾患で、眼疾患による視覚障害（視力低下、失明）の主な原因となっています。緑内障の視神経障害および視野障害は、基本的には進行性で非可逆的であるため、眼圧の下降およびその長期にわたるコントロールが治療方法の基本です。慢性疾患で治療が長期にわたることから、防腐剤のベンザルコニウム塩化物等に過敏症を示す患者さんや重度の角結膜上皮障害を有する患者さんには、ベンザルコニウム塩化物等の防腐剤を全く含有しない製剤が求められています。

参天製薬では、防腐剤を含有しない「コソプトミニ配合点眼液」の製造販売承認を取得することで、より多様な治療の選択肢を医療の現場に提供でき、患者さんの QOL（クオリティ・オブ・ライフ、生活の質）向上に寄与できることを期待しています。

尚、本件による、今期の通期業績予想に対する修正は予定しておりません。

＜概要＞

一般名	ドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩
剤型	水性点眼液
効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合： 緑内障・高眼圧症 ＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ 単剤での治療を優先すること
用法・用量	通常、1回1滴、1日2回点眼する

＜特徴＞

- ・ ドルゾラミド 1%とチモロール 0.5%の配合点眼液で、緑内障・高眼圧症治療剤です。
- ・ 「コソプト配合点眼液」と同じ有効成分を同量含有しています。
- ・ 防腐剤を含まない、1回使い切りディスポーザブルタイプ容器入りの製剤です。

以上

参天製薬(参天製薬株式会社、本社:大阪市)について

参天製薬は、眼科とリウマチ／骨・関節疾患領域に特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に寄与するために事業活動を行っています。目をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、それによって患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として社会への貢献を果たして参ります。

参天製薬ホームページ：<http://www.santen.co.jp/>

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。